

3 小学校高学年の指導例（1）

- ◆ **主題名** 自分の仕事 指導内容 C [よりよい学校生活、集団生活の向上]
資料名 協力 (王寺町郷土資料⑤ 王寺町教育委員会)

◆ **ねらい**

機関士と機関助士がそれぞれの仕事を行い、状況等に応じて助け合いながら機関車を走らせていたという父の話聞いて、主人公が考えたことや気付いたことについて話し合い、集団活動に積極的に参加し、集団における自分の役割と責任があることを理解し、進んで学級や学校のために働き、楽しく充実した学校生活を送ろうとする態度を育てる。

◆ **展開のあらまし**

○主な発問 ・予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
<p>○ ミユキは、どんなことを協力と考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いにいろいろなことを手伝うこと。 ・一人でするのではなく一緒にすること。 ・何でも助け合うこと。 <p>◎ お父さんの話を聞いて、協力についてのミユキの考えはどう変わったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの仕事を頑張ったうえで、互いにできないことを助け合うことが大切だ。 ・何でも助け合えばいいと思ってはいたけれど、相手ができることまで助けるのではなく、困っていることを助けるようにしなければいけない。 ・相手の仕事を助けるだけでは、二人分の仕事しかできない。一人ではできない仕事を二人するのが協力だ。 <p>○ 今、あなたは、どんな学級での仕事や役割がありますか。学校、家族などでの役割はどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞係として学級のニュースを伝える仕事がある。 ・安全委員として、廊下を歩くことや手洗い、うがいをするよう学校全体に呼びかけている。 ・家では妹の宿題を見たり、お風呂の用意をしたりすることになっている。 ・サッカーチームの副キャプテンとして、キャプテンと一緒に大きな声でチームのみんなを励ましている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 早く仕事を終わらせてくたて友達に手伝ってもらおうように頼んだ主人公と、断った友達の姿から、主人公の自分勝手さに気付くことができるようにする。 ◆ 機関士と機関助士の仕事について、写真等も活用して整理するなどし、そのうえで互いに補い合って機関車を運行していたことが理解できるようにする。 ◆ 自分の役割を果たしたうえで、目的達成のために力を合わせていた機関士たちと、自分の仕事を友達に手伝ってもらおうとした主人公の姿を対比できるようにし、学級での自分の役割や責任を果たすことの大切さに気付いた主人公の考えの変化を捉えることができるようにする。 ◆ ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。 ◆ 学級や学校、家庭など様々な集団の中における自分の役割について、改めて振り返る機会とし、役割や責任を果たすなど進んで学級や学校のために働こうとする意欲を育てるようにする。 	<p>拡大写真 ワークシート</p>

※ 展開のあらましに加え、導入として教材への興味喚起や追究する課題把握ができる活動等を、終末としてさらに見方や考え方を広げ深めるような説話や学習の振り返り等を行うなど、教材やねらい、児童の発達段階等に応じて指導を工夫したい。